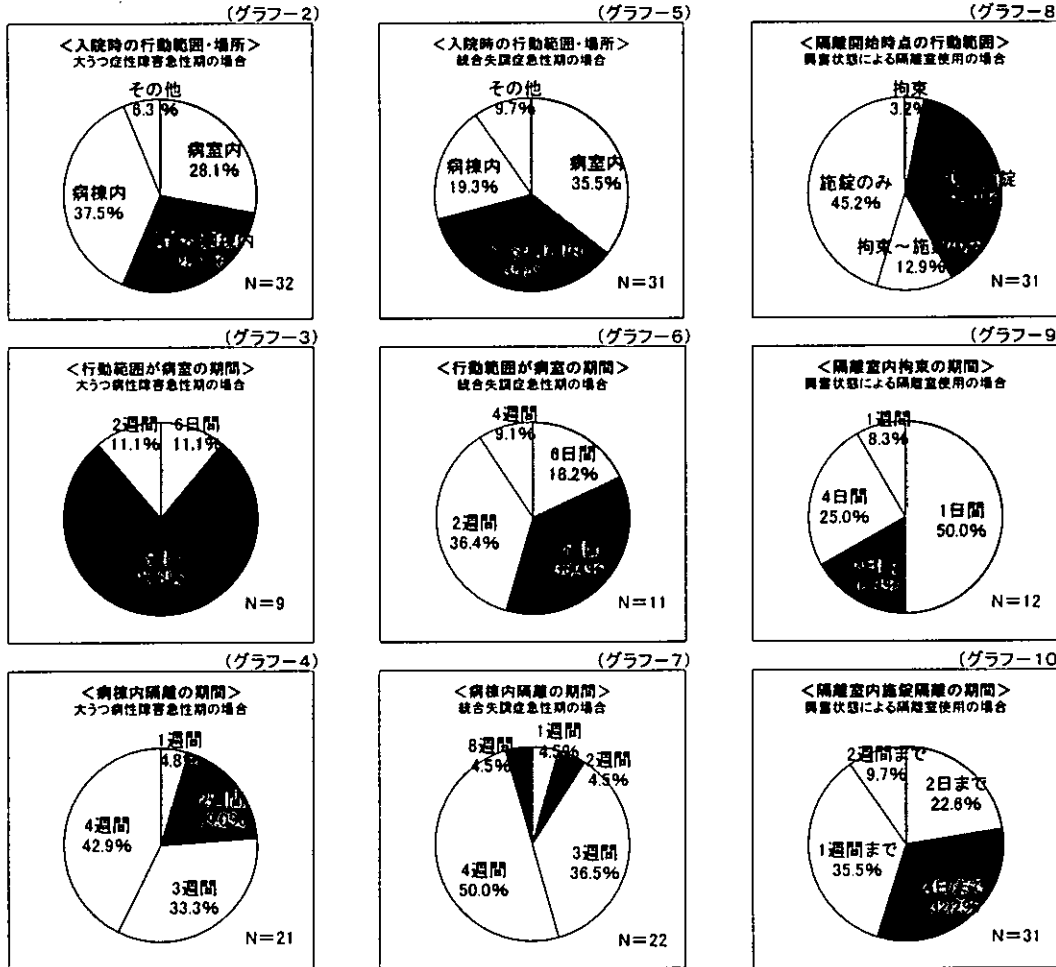


隔離室内拘束の期間 隔離室内施設隔離の期間
 ステージの設定 1(隔離開始) 2(拘束・退室) 3(退室のみ) 4(施設・施設退室) 5(食事・入浴時解放) 6(退室時解放) 7(日中解放) 8(隔離解除)

＜興奮状態による隔離室使用パス (ステージ比較:4週間=28日)＞ (表-9)

病室ID	患者	1	2	3	4	5	6	7	8
1	26	○	1	1-5	3	5	6-7	8	
2	170	○	1	1-2	3	5	6-7	8	
3	183	●	1-2	3	4	5-6-7	8		
4	118	○	1-2	3	4	5-6-7	8		
5	3	○	1-2	3	4	5-6	7	8	
6	95	○	1	2	3	4	5-6	7	8
7	22	○	1-2	3	4	5-6-7	8		
8	27	○	1-2	3	4	5-6-7	8		
9	81	○	1-2	3	4	5-6-7	8		
10	103	○	1-2	3	4	5-6-7	8		
11	55	○	1-2	3	4	5-6-7	8		
12	58	○	1-2	3	4	5-6-7	8		
13	31	○	1-2	3	4	5-6-7	8		
14	123	○	1-2	3	4	5-6-7	8	9-10-11	
15	145	○	1-2	3	4	5-6-7	8		
16	42	○	1-2	3	4	5-6-7	8		
17	198	●	1-2	3	4	5-6-7	8		
18	70	○	1-2	3	4	5-6-7	8	9-10-11	
19	37	○	1-2	3	4	5-6-7	8		
20	125	○	1-2	3	4	5-6-7	8		
21	184	○	1-2	3	4	5-6-7	8		
22	82	○	1-2	3	4	5-6-7	8		
23	108	○	1-2	3	4	5-6	7	8	
24	92	●	1-2	3	4	5	6-7	8	
25	107	○	1-2	3	4	5-6	7	8	
26	69	○	1-2	3	4	5-6-7	8		
27	35	○	1-2	3	4	5	6-7	8	
28	41	○	1-2	3	4	5	6-7	8	
29	119	●	1-2	3	4	5-6-7	8		
30	17	○	1-2	3	4	5-6	7	8	
31	110	●	1-2	3	4	5-6-7	8		



<大うつ病性障害急性期入院医療パス（病棟空間の役割）>

(表-10)

	ステージ1=入院	ステージ2	ステージ3	ステージ4
行動範囲場所	病室内	病棟内	院内同様外出	院内離棟外出
アウトカム	安全の確保	不安・睡眠・睡眠・食事の把握 適切な生活リズムの確保	入浴の自立、対人交流での安定 抑うつ気分の高揚	療養の自立 生活リズムの回復
多数項目	・自殺防止、睡眠・食事の把握 ・精神療法=話す・伝える (自殺防止、生活リズム) ・その他の治療=検査、投薬、点検 ・家族との連携	・不安の軽減、睡眠・食事の把握 ・精神療法=話す・伝える (回復療法、生活リズム) ・生活療法=ラジオ体操 ・その他の治療=検査、投薬 ・家族との連携	・不安の軽減、睡眠・食事の把握 ・精神療法=話す・伝える (回復療法、生活リズムの確立) ・生活療法=散歩・軽い運動・売店 ・その他の治療=検査、投薬、ECG検針 ・家族との連携	・生活リズム調整、対人交流ケア ・精神療法=話す・伝える (行動期間拡大の目的) ・生活療法=作業療法開始 ・その他の治療=投薬 ・家族との連携
参考	・閉鎖病棟の設置・ソート病棟室 ・ICU・ポータブルトイレ・食事介助	・副作用(閉塞・便秘・ふらつき)の観察 ・介助入浴・病棟トイレ	・単独入浴・コレクトコール	・多床室への移動・テレビや読書 ・病棟OTと中央OT
キーポイント	1. 病室における安全性確保のしつら 2. 病室における医療行為のしつら 3. 病室における基本的な生活行為のしつら (睡眠・食事・排泄)	1. 病棟における安全性確保のしつら 2. 病棟における医療行為のしつら 3. 病棟における基本的な生活行為のしつら (入浴)	1. 病棟における生活療法の空間確保	1. 病棟における基本的な生活行為のしつら (食事・更衣・清掃・交流・余暇)
	閉鎖病棟		開放病棟	
	安全性の確保		生活療法の空間確保	
	医療行為の保障(病室内)		医療行為の保障(病棟内)	
	基本的な生活行為の保障(睡眠)		基本的な生活行為の保障(入浴)	
基本的な生活行為の保障(食事・排泄)		基本的な生活行為の保障(食事・更衣・清掃・交流・余暇)		
性能	性能: 病室における安全性確保のしつら 部位: 自殺防止 一安全(音響防止:内録・録音・録音機器) 一監視(開口・監視カメラ・NSの近接配置)	性能: 病棟における安全性確保のしつら 部位: 自殺防止 一安全(音響防止:内録・録音・録音機器) 一監視(開口・監視カメラ・NSの近接配置) 一病棟内の各室の安全性チェック	性能: 病棟における生活療法のための空間確保 部位: 作業(机・椅子・専用の空間) ・活動(身体などの出来る空間・商品設置) ・散歩(散策空間・病棟からのアクセス性) ・売店(病棟からのアクセス性) ・閉鎖病棟からの安全な出入り方法	性能: 病棟における基本的な生活行為のしつら 部位: 食事(前・洗面台の設置場所) ・交流(社会との接点・交流場所) ・衣類管理(洗濯台・ロッカー・収納) ・清掃(掃除器具・仕上げ材料) ・余暇(好みに応じた商品・場所)
対象	対象: 病室における医療行為のしつら 部位: 看護士の観察(開口・カメラ・NSの位置) ・患者とスタッフのコンタクト(開口・IC) ・精神状態の悪化対応(生活行為の調整)	対象: 病棟における医療行為のしつら 部位: 看護士の観察(開口・カメラ・NSの位置) ・患者とスタッフのコンタクト(NSカウンター) ・精神状態の悪化対応(生活行為の調整)	対象: 病室における基本的な生活行為のしつら 部位: 入浴(介助のしやすさ・快適性・入浴時間)	
要求性能と対象部位	性能: 病室における安全性確保のしつら 部位: 自殺防止 一安全(音響防止:内録・録音・録音機器) 一監視(開口・監視カメラ・NSの近接配置)	性能: 病室における安全性確保のしつら 部位: 自殺防止 一安全(音響防止:内録・録音・録音機器) 一監視(開口・監視カメラ・NSの近接配置) 一病棟内の各室の安全性チェック	性能: 病室における生活療法のための空間確保 部位: 作業(机・椅子・専用の空間) ・活動(身体などの出来る空間・商品設置) ・散歩(散策空間・病棟からのアクセス性) ・売店(病棟からのアクセス性) ・閉鎖病棟からの安全な出入り方法	性能: 病室における基本的な生活行為のしつら 部位: 食事(前・洗面台の設置場所) ・交流(社会との接点・交流場所) ・衣類管理(洗濯台・ロッカー・収納) ・清掃(掃除器具・仕上げ材料) ・余暇(好みに応じた商品・場所)
チェックリスト(行為)	<ul style="list-style-type: none"> 安全性の確保(病室) <ul style="list-style-type: none"> 病室内で音響防止への配慮がなされている (白壁のない壁・天井・設備機器・家具) 病室の監視への配慮がなされている (適切な開口部・監視カメラ設置・NS近接配置) 重症患者のための配慮がなされている (病室の施設方法、重症治療室の設置) 医療行為の保障(病室) <ul style="list-style-type: none"> 病室内に日常的医療を提供するためのスペースが確保されている 病室内で緊急発生を行うと想定した対策がなされている 病室内に必要とされる医療行為に求められる医療設備が揃っている 病室内の患者の視認が容易にできる 基本的な生活行為の保障(病室) <ul style="list-style-type: none"> ベッドにて安楽な姿勢を保持できる 病室の開口部に遮光への配慮がなされている 病室の照明設備に調光機能がついている 病室における通気への配慮がなされている ベッド以外に安楽にすごせる場所がある 食事・排泄による安らぎが得られる 病室環境の調整が自主的にできる 病室にて快適な状態で食事が出る 個人的な飲食および嗜好が可能である 排泄を安全に行うことができる 入浴・洗濯を安全に行うことができる 入浴・洗濯が容易に行える 介助のしやすさへの配慮がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> 安全性の確保(病室) <ul style="list-style-type: none"> 病室内で音響防止への配慮がなされている (白壁のない壁・天井・設備機器・家具) 病室の監視への配慮がなされている (廊下監視カメラ設置・ブラインドゾーン解消) 重症患者のための配慮がなされている 医療行為の保障(病室) <ul style="list-style-type: none"> 病室内に日常的医療を提供するためのスペースが確保されている 病室内で緊急発生ができるスペースが確保されている 病室内に必要とされる医療行為に求められる医療設備が揃っている 病室内の患者の視認が容易にできる 基本的な生活行為の保障(病室) <ul style="list-style-type: none"> 病室内に安楽にすごせる場所がある (寝具・照明・空調・音響による安らぎが得られる) 病室環境の調整が自主的にできる 食事・排泄による安らぎが得られる 個人的な飲食および嗜好が可能である 排泄を安全に行うことができる 入浴・洗濯を安全に行うことができる 入浴・洗濯が容易に行える 介助のしやすさへの配慮がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> 生活療法のための空間確保 <ul style="list-style-type: none"> 病棟内に各種作業をするための専用のスペースが確保されている 商品などをその移動動かさなくても取り扱えるスペースが確保されている 身体機能低下への配慮がなされている 身体機能低下への他の配慮がなされている (視覚・聴覚・アルジー) 基本的な生活行為の保障(病室) <ul style="list-style-type: none"> 入院患者専用の散策路がありアクセスが容易である もしくは病棟内に中庭がある 散策路や中庭における安全な多方向への配慮がなされている 病棟内患者専用の売店がありアクセスが容易である 安全・衛美的な閉鎖病棟管理ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活行為の保障(病室) <ul style="list-style-type: none"> 洗面・更衣が病室内で行える 病室に洗濯・脱水が行える場所がある 更衣・脱衣が容易に行える場所がある 衣類の収納・管理が適切にできる 清潔な環境維持のための商品がある 清潔な環境維持をしやすい仕上げである (視覚・聴覚・アルジー) 交流の場が確保されている 患者への配慮がなされている (病棟・ホール・エレベーター・電話・テレビ) 院内情報の提供がなされている 個人の趣味をもてる場所が確保されている 好みに応じた余暇生活をおくるための設備・商品・スペースが確保されている
チェックリスト(商品)	<ul style="list-style-type: none"> ベッド(姿勢維持・操作・移動・安全) カーテン(プライバシー・両面遮光) 病室の照明(調光・可変性・操作) OBOTテーブル(搬送・操作・移動・安全) 一級治療室(上記行為項目を参照) 重症治療室(隔離室使用/バス参照) 病室事務所(自立・操作・身体機能・安全・介助・プライバシー・清潔・換気・車椅子) ナースステーション(病室との近接配置) ICU 	<ul style="list-style-type: none"> 病室のチェックリスト項目 <ul style="list-style-type: none"> ナースステーション(配置・カウンター形状) 食事(配置・広さ・調度) 設備室(掃除・換気・操作) 病室事務所(重症患者用+患者管理・配置・数) 浴室・シャワー(給湯・排湯・操作・安全・介助・換気・安全・操作・プライバシー・身体機能) トイレ(配置・換気・プライバシー) 	<ul style="list-style-type: none"> 病室のチェックリスト項目 <ul style="list-style-type: none"> 作業 <ul style="list-style-type: none"> 病棟内に各種作業をするための商品が確保されている 活動 <ul style="list-style-type: none"> 商品などの移動に関する操作性に配慮がある 商品などの身体機能低下への配慮がある 	<ul style="list-style-type: none"> 病室のチェックリスト項目 <ul style="list-style-type: none"> 床間(姿勢・チェスト・ロッカー(収納方法・身体機能・移動・安全・清潔)) 洗濯台(脱水・操作・商品・身体機能・安全・清潔) ナースステーション(情報伝達・交流) 床間(姿勢・プライバシー・交流・安らぎ・広さの(リエーション)配置) 設備室(交換・安らぎ・換気) 洗濯台(清潔・操作・身体機能) 両面遮光(配置・プライバシー)
チェックリスト(共通)	<ul style="list-style-type: none"> 安全性の確保(病室) <ul style="list-style-type: none"> 転落防止への配慮がなされている 転倒防止への配慮がなされている 転倒時の骨折防止への配慮がなされている 扉まわりの事故防止への配慮がなされている 院内感染防止への配慮がなされている 騒音への配慮がなされている 盗難防止への配慮がなされている 病室の家具・商品の置放対策がなされている 病室で喫煙に対する対策がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> 安全性の確保(病室) <ul style="list-style-type: none"> 転落防止への配慮がなされている 転倒防止への配慮がなされている 転倒時の骨折防止への配慮がなされている 扉まわりの事故防止への配慮がなされている 院内感染防止への配慮がなされている 騒音への配慮がなされている 盗難防止への配慮がなされている 病室の家具・商品の置放対策がなされている 病室で喫煙に対する対策がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> 安全性の確保(病室) <ul style="list-style-type: none"> 転落防止への配慮がなされている 転倒防止への配慮がなされている 転倒時の骨折防止への配慮がなされている 扉まわりの事故防止への配慮がなされている 院内感染防止への配慮がなされている 騒音への配慮がなされている 盗難防止への配慮がなされている 病室の家具・商品の置放対策がなされている 病室で喫煙に対する対策がなされている 	<ul style="list-style-type: none"> 安全性の確保(病室) <ul style="list-style-type: none"> 転落防止への配慮がなされている 転倒防止への配慮がなされている 転倒時の骨折防止への配慮がなされている 扉まわりの事故防止への配慮がなされている 院内感染防止への配慮がなされている 騒音への配慮がなされている 盗難防止への配慮がなされている 病室の家具・商品の置放対策がなされている 病室で喫煙に対する対策がなされている

<統合失調症急性期入院医療パス (病棟空間の役割)>

(表-11)

	ステージ1=入院	ステージ2	ステージ3	ステージ4
行動範囲場所	病室内(隔離室の場合)	病棟内	院内両棟外出	院外単独外出
アウトカム	安全の確保	病棟・病室の安全 異動コントロールの回復	入浴の自立、行人交通での安全 病的状態の改善	登壇の自立・実践、体力の回復 異動生活への適応
多数項目	・自殺防止、同種行動防止、喫煙・食事の把握 ・精神療法=話す・伝える (安心感、病状治療方針説明、休養指示) ・その他の治療=検査、投薬、点検 ・家族との連携	・不安の軽減、睡眠・食事の把握 ・精神療法=話す・伝える (安心感、休養指示、治療調整) ・生活療法=ラジオ体操 ・その他の治療=検査、投薬 ・家族との連携	・不安の軽減、睡眠・食事の把握 ・精神療法=話す・伝える (安心感、休養指示) ・生活療法=散歩・軽い運動・売店 ・その他の治療=検査、投薬、ECT ・家族との連携	・生活リズム調整、行人交通ケア ・精神療法=話す・伝える (病的状態の改善、行動範囲拡大の観点) ・生活療法=作業療法開始 ・その他の治療=投薬 ・家族との連携
参考	病室あるいはNS観察室・監視カメラ・壁が破壊 ハード隔離室からソフトへ・食事介助・閉鎖病棟	ADLの観察・指導	病室にて閉鎖観察・病棟日課の参加	多居室への移動・監視カメラなしの病室 閉鎖OTと中央OT・コレクトコール
キーポイント	1. 病室における安全性確保のしつらい 2. 病室における医療行為のしつらい 3. 病室における基本的な生活行為のしつらい (喫煙・休養・食事・排泄)	1. 病棟における生活療法の空間確保 2. 病室における医療行為のしつらい 3. 病室における基本的な生活行為のしつらい (入浴) 4. 病棟における生活療法の空間確保		1. 病棟における基本的な生活行為のしつらい (登壇・更衣・清掃・交流・休憩)
	閉鎖病棟		開放病棟	
	安全性の確保			生活療法の空間確保
	医療行為の保障 (病室内)	医療行為の保障 (病棟内)		
	基本的な生活行為の保障 (喫煙)			基本的な生活行為の保障 (登壇・更衣・清掃・交流・休憩)
		基本的な生活行為の保障 (入浴)		
要求性能と対象部位	危険 1. 病室における安全性確保のしつらい 部位: 自殺防止 一安全(首吊り防止・内装・鏡・家具・設備等) 一観察(開口・監視カメラ・NSの近接配置)	危険 1. 病室における安全性確保のしつらい 部位: 自殺防止 一安全(首吊り防止・内装・鏡・家具・設備等) 一観察(廊下監視カメラ・ブラインド/カーテン) 一病棟内の各室の安全性チェック	危険 1. 病室における安全性確保のしつらい 部位: 自殺防止 一安全(首吊り防止・内装・鏡・家具・設備等) 一観察(廊下監視カメラ・ブラインド/カーテン) 一病棟内の各室の安全性チェック	危険 1. 病室における安全性確保のしつらい 部位: 自殺防止 一安全(首吊り防止・内装・鏡・家具・設備等) 一観察(開口・監視カメラ・NSの近接配置)
	危険 2. 病室における医療行為のしつらい 部位: 環境面の調整(音・光・温度等の調整性) 一境界と隔離(病室からの音・外音の遮断) 一患者の状態観察(開口・カメラ・NSの位置) 一患者とスタッフのコンタクト(開口・NC) 一精神療法の質化対応(生活行為の調整性)	危険 2. 病室における医療行為のしつらい 部位: 環境面の調整(音・光・温度等の調整性) 一境界と隔離(病室からの音・外音の遮断) 一患者の状態観察(カメラ・NSの位置) 一患者とスタッフのコンタクト(INSカウンター) 一精神療法の質化対応(生活行為の調整性)		
	危険 3. 病室における基本的な生活行為のしつらい 部位: 喫煙(ベッド・通気性) 一休養(ベッド・チェア・遮音性・音響) 一食事(備品・食卓の選択性) 一排泄(室内設置・プライバシー確保)	危険 3. 病室における基本的な生活行為のしつらい 部位: 入浴(介助のしやすさ・快適性・入浴時間)		
	危険 4. 病室における基本的な生活行為のしつらい 部位: 入浴(介助のしやすさ・快適性・入浴時間)			
チェックリスト(行為)	安全確保の確保(病室) 自殺 <input type="checkbox"/> 病室内で首吊り防止への配慮がなされている 防止 (△) 窓のない壁・天井・設備・器具 <input type="checkbox"/> 病室の観察への配慮がなされている (適切な開口・監視カメラ設置・NS近接配置) <input type="checkbox"/> 患者の安全のための配慮がなされている (病室の扉のロック、患者治療室の設置)	安全確保の確保(病棟) 自殺 <input type="checkbox"/> 病室内で首吊り防止への配慮がなされている 防止 (△) 窓のない壁・天井・設備・器具 <input type="checkbox"/> 病室の観察への配慮がなされている (廊下監視カメラ設置・ブラインド/カーテン) <input type="checkbox"/> 病棟内の各室において自殺防止への対策がなされている	生活療法のための空間確保 作業 <input type="checkbox"/> 病棟内に各種作業をするための専用のスペースが確保されている 運動 <input type="checkbox"/> 病室などその移動がなくても軽い運動ができるスペースが確保されている <input type="checkbox"/> 身体機能低下への配慮がなされている <input type="checkbox"/> 身体機能低下へのその配慮がなされている (視覚・聴覚・アルルギー)	基本的な生活行為の保障(病棟) 喫煙 <input type="checkbox"/> 洗面・登壇が病室内で行える <input type="checkbox"/> 喫煙に洗面・登壇が行える場所がある <input type="checkbox"/> 登壇に必要な備品・スペースがある 更衣 <input type="checkbox"/> 足踏がなく履替えができる 清掃 <input type="checkbox"/> 衣類の収納・管理が適切にできる <input type="checkbox"/> 清潔な環境維持のための備品がある <input type="checkbox"/> 清潔な環境維持をしやすい仕上げである 交流 <input type="checkbox"/> 交流の場が確保されている <input type="checkbox"/> 患者間への配慮がなされている <input type="checkbox"/> 外部社会とのつながりが確保されている (廊下・カンテーン・電話・テレビ) <input type="checkbox"/> 院内情報の共有がなされている 休憩 <input type="checkbox"/> 好みに応じた休憩生活をおくるための設備・備品・スペースが確保されている
	安全確保の確保(病室) 喫煙 <input type="checkbox"/> ベッドにて喫煙を容易にできる <input type="checkbox"/> 病室の開口部に煙光への配慮がなされている <input type="checkbox"/> 病室の照明調整に関する配慮がなされている <input type="checkbox"/> 病室における患者への配慮がなされている	安全確保の確保(病棟) 喫煙 <input type="checkbox"/> 病棟内に喫煙に許せる場所がある (禁煙室・アルコールなどのスペース) <input type="checkbox"/> 音響・臭気・自然・音響による不安が軽減される <input type="checkbox"/> 環境面の調整が自主的にできる	生活療法のための空間確保 作業 <input type="checkbox"/> 病室内に各種作業をするための専用のスペースが確保されている 運動 <input type="checkbox"/> 病室などその移動がなくても軽い運動ができるスペースが確保されている <input type="checkbox"/> 身体機能低下への配慮がなされている <input type="checkbox"/> 身体機能低下へのその配慮がなされている (視覚・聴覚・アルルギー)	基本的な生活行為の保障(病棟) 喫煙 <input type="checkbox"/> 洗面・登壇が病室内で行える <input type="checkbox"/> 喫煙に洗面・登壇が行える場所がある <input type="checkbox"/> 登壇に必要な備品・スペースがある 更衣 <input type="checkbox"/> 足踏がなく履替えができる 清掃 <input type="checkbox"/> 衣類の収納・管理が適切にできる <input type="checkbox"/> 清潔な環境維持のための備品がある <input type="checkbox"/> 清潔な環境維持をしやすい仕上げである 交流 <input type="checkbox"/> 交流の場が確保されている <input type="checkbox"/> 患者間への配慮がなされている <input type="checkbox"/> 外部社会とのつながりが確保されている (廊下・カンテーン・電話・テレビ) <input type="checkbox"/> 院内情報の共有がなされている 休憩 <input type="checkbox"/> 好みに応じた休憩生活をおくるための設備・備品・スペースが確保されている
	安全確保の確保(病室) 食事 <input type="checkbox"/> 病室にて快適な状態で食事が出せる <input type="checkbox"/> 個人的な飲食および嗜好が可能である 排泄 <input type="checkbox"/> 病室に便所が設置されている <input type="checkbox"/> 排便を安全に行うことができる <input type="checkbox"/> 羞恥心への配慮がなされている	安全確保の確保(病棟) 食事 <input type="checkbox"/> 病室内に必要とされる医療行為に求められる医療用設備が備わっている <input type="checkbox"/> 病室内の患者の移動が容易にできる 入浴 <input type="checkbox"/> 病室内に必要とされる医療行為に求められる医療用設備が備わっている <input type="checkbox"/> 病室内の患者の移動が容易にできる	生活療法のための空間確保 作業 <input type="checkbox"/> 病室内に各種作業をするための専用のスペースが確保されている 運動 <input type="checkbox"/> 病室などその移動がなくても軽い運動ができるスペースが確保されている <input type="checkbox"/> 身体機能低下への配慮がなされている <input type="checkbox"/> 身体機能低下へのその配慮がなされている (視覚・聴覚・アルルギー)	基本的な生活行為の保障(病棟) 喫煙 <input type="checkbox"/> 洗面・登壇が病室内で行える <input type="checkbox"/> 喫煙に洗面・登壇が行える場所がある <input type="checkbox"/> 登壇に必要な備品・スペースがある 更衣 <input type="checkbox"/> 足踏がなく履替えができる 清掃 <input type="checkbox"/> 衣類の収納・管理が適切にできる <input type="checkbox"/> 清潔な環境維持のための備品がある <input type="checkbox"/> 清潔な環境維持をしやすい仕上げである 交流 <input type="checkbox"/> 交流の場が確保されている <input type="checkbox"/> 患者間への配慮がなされている <input type="checkbox"/> 外部社会とのつながりが確保されている (廊下・カンテーン・電話・テレビ) <input type="checkbox"/> 院内情報の共有がなされている 休憩 <input type="checkbox"/> 好みに応じた休憩生活をおくるための設備・備品・スペースが確保されている
	安全確保の確保(病室) 喫煙 <input type="checkbox"/> ベッド(姿勢維持・操作・移動・安全) <input type="checkbox"/> カーテン(プライバシー・両面遮断) <input type="checkbox"/> 病室の照明(調光・可変性・操作) <input type="checkbox"/> OHTテーブル(機能・操作・移動・安全)	安全確保の確保(病棟) 喫煙 <input type="checkbox"/> 病室内に必要とされる医療行為に求められる医療用設備が備わっている <input type="checkbox"/> 病室内の患者の移動が容易にできる 入浴 <input type="checkbox"/> 病室内に必要とされる医療行為に求められる医療用設備が備わっている <input type="checkbox"/> 病室内の患者の移動が容易にできる	生活療法のための空間確保 作業 <input type="checkbox"/> 病室内に各種作業をするための専用のスペースが確保されている 運動 <input type="checkbox"/> 病室などその移動がなくても軽い運動ができるスペースが確保されている <input type="checkbox"/> 身体機能低下への配慮がなされている <input type="checkbox"/> 身体機能低下へのその配慮がなされている (視覚・聴覚・アルルギー)	基本的な生活行為の保障(病棟) 喫煙 <input type="checkbox"/> 洗面・登壇が病室内で行える <input type="checkbox"/> 喫煙に洗面・登壇が行える場所がある <input type="checkbox"/> 登壇に必要な備品・スペースがある 更衣 <input type="checkbox"/> 足踏がなく履替えができる 清掃 <input type="checkbox"/> 衣類の収納・管理が適切にできる <input type="checkbox"/> 清潔な環境維持のための備品がある <input type="checkbox"/> 清潔な環境維持をしやすい仕上げである 交流 <input type="checkbox"/> 交流の場が確保されている <input type="checkbox"/> 患者間への配慮がなされている <input type="checkbox"/> 外部社会とのつながりが確保されている (廊下・カンテーン・電話・テレビ) <input type="checkbox"/> 院内情報の共有がなされている 休憩 <input type="checkbox"/> 好みに応じた休憩生活をおくるための設備・備品・スペースが確保されている
安全確保の確保(病室) 喫煙 <input type="checkbox"/> 病室内で首吊り防止への配慮がなされている <input type="checkbox"/> 病室の観察への配慮がなされている <input type="checkbox"/> 病室の観察への配慮がなされている <input type="checkbox"/> 病室の観察への配慮がなされている <input type="checkbox"/> 病室の観察への配慮がなされている <input type="checkbox"/> 病室の観察への配慮がなされている <input type="checkbox"/> 病室の観察への配慮がなされている 食事 <input type="checkbox"/> 病室にて快適な状態で食事が出せる <input type="checkbox"/> 個人的な飲食および嗜好が可能である 排泄 <input type="checkbox"/> 病室に便所が設置されている <input type="checkbox"/> 排便を安全に行うことができる <input type="checkbox"/> 羞恥心への配慮がなされている	安全確保の確保(病棟) 喫煙 <input type="checkbox"/> 病室内で首吊り防止への配慮がなされている 防止 (△) 窓のない壁・天井・設備・器具 <input type="checkbox"/> 病室の観察への配慮がなされている (廊下監視カメラ設置・ブラインド/カーテン) <input type="checkbox"/> 病棟内の各室において自殺防止への対策がなされている	生活療法のための空間確保 作業 <input type="checkbox"/> 病室内に各種作業をするための専用のスペースが確保されている 運動 <input type="checkbox"/> 病室などその移動がなくても軽い運動ができるスペースが確保されている <input type="checkbox"/> 身体機能低下への配慮がなされている <input type="checkbox"/> 身体機能低下へのその配慮がなされている (視覚・聴覚・アルルギー)	基本的な生活行為の保障(病棟) 喫煙 <input type="checkbox"/> 洗面・登壇が病室内で行える <input type="checkbox"/> 喫煙に洗面・登壇が行える場所がある <input type="checkbox"/> 登壇に必要な備品・スペースがある 更衣 <input type="checkbox"/> 足踏がなく履替えができる 清掃 <input type="checkbox"/> 衣類の収納・管理が適切にできる <input type="checkbox"/> 清潔な環境維持のための備品がある <input type="checkbox"/> 清潔な環境維持をしやすい仕上げである 交流 <input type="checkbox"/> 交流の場が確保されている <input type="checkbox"/> 患者間への配慮がなされている <input type="checkbox"/> 外部社会とのつながりが確保されている (廊下・カンテーン・電話・テレビ) <input type="checkbox"/> 院内情報の共有がなされている 休憩 <input type="checkbox"/> 好みに応じた休憩生活をおくるための設備・備品・スペースが確保されている	

＜興奮状態による隔離室使用パス（隔離室周辺の役割-1）＞

（表-12）

	ステージ1＝隔離	ステージ2	ステージ3	ステージ4	
行動範囲	隔離室（拘束・施設）	隔離室（拘束・施設）	隔離室（施設のみ）	隔離室（施設・開放棟付）	
アクトカム	安全の確保（自衛・自衛・自衛） 音声コントロールの確保	安全の確保 感測・行動の記録、検出・検出の検出	安全・検出の確保 アクトカムの検出が可能な	安全・検出の確保 アクトカムの検出が可能な	
多数項目	・自衛・防犯行動防止、セルフアラーム機能 ・精神療法＝話す、伝える （安心感、隔離室内の音、受動的対応） ・その他治療＝検査、投薬、通電 ・家族との連絡	・自衛・防犯行動防止、セルフアラーム機能 ・精神療法＝話す、伝える （安心感、受動的対応） ・その他治療＝投薬	・セルフアラーム機能、共通の検出 ・精神療法＝話す、伝える （安心感、受動的対応） ・生活療法＝隔離室にて洗濯 ・その他治療＝投薬	・セルフアラーム機能、共通の検出 ・精神療法＝話す、伝える （安心感、受動的対応） ・生活療法＝テレビ、新聞 ・その他治療＝投薬、ECT検査 ・家族との連絡（一部解除）	
参考					
キーポイント	1. 隔離室における安全性確保のしつらい 2. 隔離室における医療行為のしつらい 3. 隔離室における基本的な生活行為のしつらい （睡眠・休養・食事・排泄）		1. 隔離室における基本的な生活行為のしつらい （睡眠・休養・食事・排泄・洗濯）	1. 検体・隔離ゾーンにおける安全性確保のしつらい 2. 検体・隔離ゾーンにおける医療行為のしつらい 3. 検体・隔離ゾーンにおける基本的な生活行為のしつらい （休養・食事・排泄・洗濯）	
	拘束		病室内隔離	開放処置	
	安全性の確保				
	医療行為の保障（隔離室内）			医療行為の保障（検体内・隔離ゾーン共用部）	
	基本的な生活行為の保障（睡眠・休養・食事・排泄）		基本的な生活行為の保障（洗濯）		
要求性能と対象部位	性能①：隔離室における安全性確保のしつらい 部位 ・自衛防止、自衛・自衛への配慮 （安全（自衛防止）：内装・器具・設備機器） （自衛・自衛への配慮：内装材料の選択） ・検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） ・隔離（音・振動・臭気・視覚・聴覚）		性能②：隔離室における基本的な生活行為のしつらい 部位 ・洗濯（検体・洗面台の設置場所）	性能③：検体・隔離ゾーン共用部の安全性確保のしつらい 部位 ・自衛防止 （安全（自衛防止）：内装・器具・設備機器） ・検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） ・検体内の各室の安全性チェック	
	性能④：隔離室における医療行為のしつらい 部位 ・検体の検出（音・光・温度等の検出） ・検体と検体（検体からの検出・外部の検出） ・検体の状態検出（開口・カメラ・NSの位置） ・検体とスタッフのコンタクト（開口・NG） ・検体の状態検出（開口・カメラ・NSの位置） ・検体の状態検出（開口・カメラ・NSの位置）			性能④：検体・隔離ゾーン共用部の医療行為のしつらい 部位 ・検体の検出（音・光・温度等の検出） ・検体の状態検出（開口・カメラ・NSの位置） ・検体とスタッフのコンタクト（開口・NG） ・検体の状態検出（開口・カメラ・NSの位置）	
	性能⑤：隔離室における基本的な生活行為のしつらい 部位 ・睡眠（ベッド・遮光性能） ・休養（ベッド・チェア・通気性能・音・臭） ・食事（検体・検体の選択） ・排泄（室内設置・プライバシー確保）			性能⑤：検体・隔離ゾーン共用部の基本的な生活行為のしつらい 部位 ・休養（ベッド・チェア・通気性能・音・臭） ・食事（検体・検体の選択） ・排泄（室内設置・プライバシー確保）	
チェックリスト（行為）	●安全性の確保（隔離室） 自衛 □ 隔離室内で自衛防止への配慮がなされている □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置）	●安全性の確保（検体・隔離ゾーン共用部） 自衛 □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置）	●安全性の確保（検体・隔離ゾーン共用部） 自衛 □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置）	●安全性の確保（検体・隔離ゾーン共用部） 自衛 □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置） □ 検体（開口・監視カメラ・NSの近接配置）	
	●医療行為の保障（隔離室） □ 隔離室内に日常的医療を提供するためのスペースが確保されている □ 隔離室内で検体発生を行うこと想定した対策がなされている □ 隔離室内に必要とされる医療行為に求められる医療設備が揃っている □ 隔離室内の検体の肥満が容易にできる		●医療行為の保障（検体・隔離ゾーン共用部） □ 検体内および隔離ゾーン共用部に日常的医療を提供するためのスペースが確保されている □ 検体内および隔離ゾーン共用部に必要とされる医療行為に求められる医療設備が揃っている □ 検体内の検体の肥満が容易にできる	●医療行為の保障（検体・隔離ゾーン共用部） □ 検体内および隔離ゾーン共用部に日常的医療を提供するためのスペースが確保されている □ 検体内および隔離ゾーン共用部に必要とされる医療行為に求められる医療設備が揃っている □ 検体内の検体の肥満が容易にできる	
	●基本的な生活行為の保障（隔離室） 睡眠 □ ベッドにて安楽な姿勢を保持できる □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている		●基本的な生活行為の保障（検体・隔離ゾーン共用部） 休養 □ 検体内の検体の肥満が容易にできる □ 検体内の検体の肥満が容易にできる □ 検体内の検体の肥満が容易にできる □ 検体内の検体の肥満が容易にできる	●基本的な生活行為の保障（検体・隔離ゾーン共用部） 休養 □ 検体内の検体の肥満が容易にできる □ 検体内の検体の肥満が容易にできる □ 検体内の検体の肥満が容易にできる □ 検体内の検体の肥満が容易にできる	
	食事 □ 検体にて快適な状態で食事が出る □ 検体にて快適な状態で食事が出る □ 検体にて快適な状態で食事が出る □ 検体にて快適な状態で食事が出る		●基本的な生活行為の保障（検体・隔離ゾーン共用部） 食事 □ 検体内の検体の肥満が容易にできる □ 検体内の検体の肥満が容易にできる □ 検体内の検体の肥満が容易にできる □ 検体内の検体の肥満が容易にできる	●基本的な生活行為の保障（検体・隔離ゾーン共用部） 食事 □ 検体内の検体の肥満が容易にできる □ 検体内の検体の肥満が容易にできる □ 検体内の検体の肥満が容易にできる □ 検体内の検体の肥満が容易にできる	
	排泄 □ 検体にて快適な状態で排泄ができる □ 検体にて快適な状態で排泄ができる □ 検体にて快適な状態で排泄ができる □ 検体にて快適な状態で排泄ができる		●基本的な生活行為の保障（検体・隔離ゾーン共用部） 排泄 □ 検体内の検体の肥満が容易にできる □ 検体内の検体の肥満が容易にできる □ 検体内の検体の肥満が容易にできる □ 検体内の検体の肥満が容易にできる	●基本的な生活行為の保障（検体・隔離ゾーン共用部） 排泄 □ 検体内の検体の肥満が容易にできる □ 検体内の検体の肥満が容易にできる □ 検体内の検体の肥満が容易にできる □ 検体内の検体の肥満が容易にできる	
	●検体のチェックリスト項目 □ ベッド（姿勢検出・検体・移動・安全） □ 検体の照明（検体・可変性・検体） □ 検体の照明（検体・可変性・検体） □ 検体の照明（検体・可変性・検体）	●検体のチェックリスト項目 □ 検体の照明（検体・可変性・検体） □ 検体の照明（検体・可変性・検体） □ 検体の照明（検体・可変性・検体） □ 検体の照明（検体・可変性・検体）	●検体のチェックリスト項目 □ 検体の照明（検体・可変性・検体） □ 検体の照明（検体・可変性・検体） □ 検体の照明（検体・可変性・検体） □ 検体の照明（検体・可変性・検体）	●検体のチェックリスト項目 □ 検体の照明（検体・可変性・検体） □ 検体の照明（検体・可変性・検体） □ 検体の照明（検体・可変性・検体） □ 検体の照明（検体・可変性・検体）	
	●各室のチェックリスト項目 □ ナースステーション（検体との近接配置） □ □ □ □ □ □ □ □ □	●各室のチェックリスト項目 □ ナースステーション（検体との近接配置） □ □ □ □ □ □ □ □ □	●各室のチェックリスト項目 □ ナースステーション（検体との近接配置） □ □ □ □ □ □ □ □ □	●各室のチェックリスト項目 □ ナースステーション（検体との近接配置） □ □ □ □ □ □ □ □ □	
	チェックリスト（製品）	●安全性の確保（隔離室） □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている	●安全性の確保（検体・隔離ゾーン共用部） □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている	●安全性の確保（検体・隔離ゾーン共用部） □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている	●安全性の確保（検体・隔離ゾーン共用部） □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている
		●安全性の確保（隔離室） □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている	●安全性の確保（検体・隔離ゾーン共用部） □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている	●安全性の確保（検体・隔離ゾーン共用部） □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている	●安全性の確保（検体・隔離ゾーン共用部） □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている □ 検体の開口部に遮光への配慮がなされている

<興奮状態による隔離室使用パス（隔離室周囲の役割-2）>

（表-13）

	ステージ5	ステージ6	ステージ7	ステージ8=解除
行動範囲 確保	隔離室（食事・入浴時間開放）	隔離室（昼時間開放）	隔離室（日中開放）	一般病室（隔離解除・閉鎖解除）
アウトカム	簡単な作業のやりとりが出来る。 簡単な食事・入浴・排泄の確保	簡単な作業のやりとりが出来ると、 簡単な食事・入浴・排泄の自立	隔離室での生活が可能	電子コントロールの記録・指示・確認が作業 パスの活動で可能
多数項目	・セルフケアレベル把握、共感的傾聴 ・精神療法=話す・伝える （行動制御の理解指導） ・生活療法=日常生活（可動であれば） ・その他の治療=投薬	・セルフケアレベル把握、共感的傾聴 ・精神療法=話す・伝える （行動制御の理解指導） ・生活療法=日常生活（可動であれば） ・その他の治療=投薬	・セルフケアレベル把握、共感的傾聴 精神療法=話す・伝える （行動制御の理解指導） ・生活療法=ラジオ体操（開放時間に） ・その他の治療=投薬 ・家族との連携（全室解除）	・治療計画の確立 ・その他の治療=投薬、ECT検討
参考				
キー ポイント	1. 病棟・隔離ゾーンにおける基本的な生活行為のしづらい （入浴）		1. 病棟・隔離ゾーン共用部における生活療法の空間確保	1. 一般病室における安全性確保のしづらい 2. 一般病室における医療行為のしづらい 3. 一般病室における基本的な生活行為のしづらい （閉鎖・休室・食事・排泄）
		開放処遇		隔離解除
			安全性の確保	
	医療行為の保障（病室内）		医療行為の保障・生活療法の空間確保（一般病室・病棟内）	
	基本的な生活行為の保障（睡眠・休養・食事・排泄）			
	基本的な生活行為の保障（洗面）			
基本的な生活行為の保障（入浴）				
要求性能と 対象部位	役割 ・役割：病棟・隔離ゾーンにおける基本的な生活行為のしづらい （入浴（介助のしやすさ・快適性・入浴時間））	役割 ・作業（机・椅子・専用の空間） ・運動（休憩などの出来る空間・備品設置） ・散歩（設置空間・環境からのアクセシビリティ） ・洗濯（病棟からのアクセシビリティ）	役割 ・事故防止 ・安全（落下防止・内傷・被刺・設備破損） ・観察（開口・監視カメラ・MSの遠隔配置）	役割 ・一般病室における安全性確保のしづらい
			役割 ・環境音の調整（音・光・温度の調節性） ・患者の状況観察（開口・カメラ・MSの設置） ・急患とスタッフのコンタクト（開口・MC） ・精神症状の悪化対応（生活行為の調節性）	
			役割 ・閉鎖（ベッド・遮光性確保） ・休室（ベッド・チェア・通気性確保・音楽） ・排泄（室内設置・プライバシー確保）	
チェック リスト （行為）	◆基本的な生活行為の保障（病棟・隔離ゾーン共用部）	◆生活療法のための空間確保（病棟・隔離ゾーン共用部）	◆安全性の確保（一般病室）	
	入浴 <input type="checkbox"/> 快適に入浴・洗濯が出来る <input type="checkbox"/>	作業 <input type="checkbox"/> 病室内に各種作業をするための専用のスペースが確保されている <input type="checkbox"/>	事故防止 <input type="checkbox"/> 病室内で落下防止への配慮がなされている <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 操作性に優れた <input type="checkbox"/>	運動 <input type="checkbox"/> 備品などをその用途からさなくても軽い運動ができるスペースが確保されている <input type="checkbox"/>	観察 <input type="checkbox"/> 病室の観察への配慮がなされている <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/> 介助のしやすさへの配慮がなされている <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 身体機能低下への適切な配慮がなされている <input type="checkbox"/>	患者の状況観察 <input type="checkbox"/> 病室の観察への配慮がなされている <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 身体機能低下への適切な配慮がなされている <input type="checkbox"/>	急患とスタッフのコンタクト <input type="checkbox"/> 病室の観察への配慮がなされている <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	精神症状の悪化対応 <input type="checkbox"/> 病室の観察への配慮がなされている <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	閉鎖 <input type="checkbox"/> 病室内に日常的な生活行為のためのスペースが確保されている <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	休室 <input type="checkbox"/> 病室内で休息をとるための空間が確保されている <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	排泄 <input type="checkbox"/> 病室内に必要とされる医療行為に求められる設備が整っている <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	安全性 <input type="checkbox"/> 病室内の患者の転倒が容易にできる <input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	基本的な生活行為の保障（一般病室）		
チェック リスト （備品） （各室）	◆備品のチェックリスト項目	◆備品のチェックリスト項目	◆備品のチェックリスト項目	
	<input type="checkbox"/> シャワーチェア（カラン高さ・安全）	<input type="checkbox"/> 居室家具（姿勢維持・操作・移動・安全）	<input type="checkbox"/> ベッド（姿勢維持・操作・移動・安全）	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> シャワーチェア（カラン高さ・安全）	<input type="checkbox"/> カーテン（プライバシー・調整機能）	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 病室の照明（調度・夜間・管理）	<input type="checkbox"/> 病室の照明（調度・可変性・操作）	
	<input type="checkbox"/>	作業 <input type="checkbox"/> 病室内に各種作業をするための備品が確保されている <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> O2テーブル（搬送・操作・移動・安全）	
	<input type="checkbox"/>	運動 <input type="checkbox"/> 備品などの移動に関する操作性に配慮がある <input type="checkbox"/>	◆各室のチェックリスト項目	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 備品などの身体機能低下への配慮がある <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 一般病室（上記各項目を参照）	
	<input type="checkbox"/>	◆各室のチェックリスト項目	<input type="checkbox"/> 重症治療室（隔離室専用）（参照）	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ナースステーション（配置・カウンター形状）	<input type="checkbox"/> 病室使用（自立・操作・身体機能・安全・介助）	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 居室（配置・広さ・騒音）	<input type="checkbox"/> プライバシー（遮音・換気・監視）	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 配電室（遮音・換気・操作）	<input type="checkbox"/> ナースステーション（病室との連携）		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 病室使用（病室使用+緊急時+配置-敷）	<input type="checkbox"/>		
チェック リスト （共通）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	◆安全性の確保（一般病室）	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事故防止 <input type="checkbox"/> 転落防止への配慮がなされている <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	観察 <input type="checkbox"/> 転落防止への配慮がなされている <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 転落防止への配慮がなされている <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 転落防止への配慮がなされている <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 転落防止への配慮がなされている <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 転落防止への配慮がなされている <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 転落防止への配慮がなされている <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 転落防止への配慮がなされている <input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 転落防止への配慮がなされている <input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 転落防止への配慮がなされている <input type="checkbox"/>		

I I I . 調查票

精神科急性期治療病棟・精神科救急入院料病棟を有する病院
院長殿

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、厚生労働科学研究「精神科急性期病棟・リハビリテーション病棟等の在り方に関する研究」研究班は、研究の一環として精神科クリニカルパス（クリティカルパス）の検討を行うことになりました。

本調査は、専門性と高度な治療技術が必要とされる精神科急性期・救急病棟における治療の質の向上と標準化を目指すための調査です。今後ますます重要性が高まることが予想される急性期・救急治療に現在取り組んでおられる施設において、どのような治療がどのような手順で行われているのかを全国規模で把握することを目的としています。

ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、調査票にご記入いただく前に、9月19日（金）までに調査事務局まで同封のFAX票をFAXでお送りいただければ幸いです。

敬具

2003年9月1日
〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1
国立精神・神経センター 国府台病院
院長 樋口輝彦

調査事務局：
〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6
国立保健医療科学院 経営科学部
伊藤弘人・小山明日香
TEL: 048-458-6139 FAX: 048-451-7711

精神科政策医療ネットワーク 国立療養所 所長 殿

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、厚生労働科学研究「精神科急性期病棟・リハビリテーション病棟等の在り方に関する研究」研究班は、研究の一環として精神科クリニカルパス（クリティカルパス）の検討を行うことになりました。本調査は、特に専門性と高度な治療技術を必要とする精神科急性期・救急治療における治療の質の向上と標準化を目指すための調査です。

このなかで、精神科政策医療ネットワークの国立療養所におけるそれぞれの精神科急性期・救急治療の特徴を把握することを目的として、今回このような調査票を郵送させていただき次第となりました。

ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、調査票にご記入いただく前に、9月19日（金）までに調査事務局まで同封のFAX票をFAXでお送りいただければ幸いです。

敬具

2003年9月1日
〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1
国立精神・神経センター 国府台病院
院長 樋口輝彦

調査事務局：
〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6
国立保健医療科学院 経営科学部
伊藤弘人・小山明日香
TEL: 048-458-6139 FAX: 048-451-7711

精神科病棟を有する大学病院精神科 科長 殿

拝啓 時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、厚生労働省科学研究「精神科救急・リハビリテーション病棟等の在り方に関する研究」研究班は、研究の一環として精神科クリニカルパスの検討を行うことになりました。

本調査は、特に専門性と高度な治療技術を必要とする精神科急性期・救急治療における治療の質の向上と標準化を目指すための調査です。全国の精神科急性期治療病棟または精神科救急入院病棟を有する病院に調査を依頼しています。

この中で大学病院精神科で精神科救急に関与しているところを全国規模で把握し、どのような治療がどのような手順で行なわれているのかを調査することを目的としています。しかし、現在大学病院で各都道府県の精神科救急システムに基幹病院として参加している大学病院でも、診療報酬の点から精神科急性期治療病棟もしくは精神科救急入院病棟として届け出ているところは少なく、精神科急性期治療病棟もしくは精神科救急入院病棟を有する大学病院だけを対象とした調査では不十分と思われます。一方、精神科救急システムに関与している大学病院のリストもないのが現状で、精神科病棟を有する大学病院で精神科救急に関与しているかを改めて調査する必要が生じました。

ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、調査票にご記入いただく前に、9月19日(金)までに調査事務局まで同封のFAX票をFAXでお送りいただければ幸いです。

敬具

2003年9月1日

国立精神・神経センター 国府台病院
院長 樋口輝彦
(主任研究者)
北里大学医学部精神科学教室
教授 宮岡 等
(分担研究者：大学病院担当)

調査事務局：

国立保健医療科学院 経営科学部
伊藤弘人・小山明日香
〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6
TEL: 048-458-6139 FAX048-451-7711

調査の実施方法

本調査は、診療報酬上の精神科急性期治療病棟および精神科救急入院料病棟（以下：対象病棟）を対象とした調査です。以下4つの調査からなります。

<A.クリニカルパス（クリティカルパス）調査>

- 記入者：対象病棟を受け持つ医師
（対象病棟が複数ある場合は、より急性期の患者が多い病棟を受け持つ医師）

- 調査方法：
 - 「大うつ病性障害急性期入院医療パス」
 - 「統合失調症急性期入院医療パス」
 - 「興奮状態による隔離室使用パス」 } について、

パスが存在する場合 → パス現物をお送りください。

存在しない場合 → ・3つの「想定例」について、現在貴院で行われている治療・ケア手順を記入してください。その際、記入例をご参照ください。
・同封したフロッピーディスクに入っている Excel ファイルに書き込んでご返送ください。難しい場合は、同封したパス調査票に手書きで記入してご返送ください。
・3つの「想定例」それぞれについて、同一の医師が記入されても別々の医師が記入されても結構です。

<B.対象病棟施設特性調査>

- 記入者：事務職員
- 調査方法：1対象病棟につき、対象病棟施設特性調査票1部を記入してください。
対象病棟が2病棟あれば2部ご記入いただくことになります。

<C.医師アンケート調査>

- 記入者：対象病棟を受け持つ常勤医師全員
- 調査方法：医師アンケート調査票に記入してください。

<D.設備調査>

- 可能であれば対象病棟の平面図をお送りください。病棟構造がわかるパンフレットでも結構です。

調査事務局：
〒351-0197 埼玉県和光市南 2-3-6
国立保健医療科学院 経営科学部
伊藤弘人・小山明日香
TEL: 048-458-6139 FAX: 048-451-7711

調査の実施方法

- ◆ 最も精神科急性期・救急患者を多く受け入れている1病棟を対象病棟として選択してください。
- ◆ 9月末までにご返送いただければ幸いです。

本調査は、以下4つの調査からなります。

<A.クリニカルパス（クリティカルパス）調査>

- 記入者：対象病棟を受け持つ医師

- 調査方法：

「大うつ病性障害急性期入院医療パス」
 「統合失調症急性期入院医療パス」
 「興奮状態による隔離室使用パス」 } について、

パスが存在する場合 → パス現物をお送りください。

存在しない場合 → ・3つの「想定例」について、現在貴院で行われている治療・ケア手順を記入してください。その際、記入例をご参照ください。
 ・同封したフロッピーディスクに入っている Excel ファイルに書き込んでご返送ください。難しい場合は、同封したパス調査票に手書きで記入してご返送ください。
 ・3つの「想定例」それぞれについて、同一の医師が記入されても別々の医師が記入されても結構です。

<B.対象病棟施設特性調査>

- 記入者：事務職員

<C.医師アンケート調査>

- 記入者：対象病棟を受け持つ常勤医師全員
- 調査方法：医師アンケート調査票に記入してください。

<D.設備調査>

- 可能であれば対象病棟の平面図をお送りください。病棟構造がわかるパンフレットでも結構です。

調査事務局：
 〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6
 国立保健医療科学院 経営科学部
 伊藤弘人・小山明日香
 TEL: 048-458-6139 FAX: 048-451-7711

調査の実施方法

- ◆ この調査には、各都道府県の精神科救急システムに関与している場合のみ、ご回答いただくことになります。
- ◆ 精神科病棟が複数ある場合には、最も精神科急性期・救急患者を多く受け入れている1病棟を対象病棟として選択してください。
- ◆ 9月末までにご返送いただければ幸いです。

本調査は、以下4つの調査からなります。

<A.クリニカルパス（クリティカルパス）調査>

- 記入者：対象病棟を受け持つ医師

- 調査方法：

「大うつ病性障害急性期入院医療パス」
「統合失調症急性期入院医療パス」
「興奮状態による隔離室使用パス」 } について、

パスが存在する場合 → パス現物をお送りください。

存在しない場合 → ・3つの「想定例」について、現在貴院で行われている治療・ケア手順を記入してください。その際、記入例をご参照ください。
・同封したフロッピーディスクに入っている Excel ファイルに書き込んでご返送ください。難しい場合は、同封したパス調査票に手書きで記入してご返送ください。
・3つの「想定例」それぞれについて、同一の医師が記入されても別々の医師が記入されても結構です。

<B.対象病棟施設特性調査>

- 記入者：事務職員

<C.医師アンケート調査>

- 記入者：対象病棟を受け持つ常勤医師全員
- 調査方法：医師アンケート調査票に記入してください。

<D.設備調査>

- 可能であれば対象病棟の平面図をお送りください。病棟構造がわかるパンフレットでも結構です。

調査事務局：
〒351-0197 埼玉県和光市南 2-3-6
国立保健医療科学院 経営科学部
伊藤弘人・小山明日香
TEL: 048-458-6139 FAX: 048-451-7711

この記入用紙を同封のうえ、9月末までに
事務局へお送りください

病院名	
御担当者名	
お電話番号	
FAX 番号	

ご返送いただくものチェックリスト

	A. クリニカル パス調査	B. 対象病棟施設 特性調査	C. 医師アンケート 調査	D. 設備調査
ご返送いただく もの	フロッピーディス クまたはパス調査 票	対象病棟施設特性 調査票	アンケート調査票	病棟平面図または 病棟構造がわかる パンフレット
チェック欄 (○印を記入)				

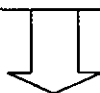
A、B、C、Dすべてをとりまとめて同封の返信用封筒で事務局へお送りください。

想定例

<事例1：大うつ病性障害急性期>

59歳女性。主婦。3人の子どもをもっている。半年前に28歳になる娘夫婦が長年の不仲の末離婚することになり、実家に戻ってきた。その前から彼女は娘の相談にのり何とか夫婦仲を取り直そうと努力を続けてきたが、結局破談に終わったことを大変苦にしていた。娘が実家に戻った頃から、自分は娘に何もしてやれなかった、そもそも結婚させた私が悪いのだ、娘の人生を台無しにしたのは私だ、などといって自分を責め、誰が何を言っても気持ちは変わらず、日に日に具合が悪くなっていった。夜もよく眠れず、食欲もだんだん落ち、3ヶ月で体重が5kgもやせる状態であった。また、昼から横になっていることが多く、家事、買い物も娘に任せきりな状態になった。以前好んで参加したダンススクールなどにも、楽しくないし億劫で行く気がしないとあって全く参加しなくなった。時として自分を責める気持ちが強くなり、イライラして歯を噛みしめてうなり声をあげたり、娘に死んでわびたいとこぼすこともあった。この数週間はほとんど家に閉じこもっている。

初診時、声は弱々しく、表情の変化の乏しい抑うつ的な顔貌で、憔悴の色が濃く、実際より老けてみえた。「線路に飛び込んで自殺することを常に考え、線路のそばに足を運んでは引き返したことが幾度かあった」といった。見当識や記憶に障害はなかった。



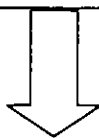
達成目標

睡眠	7時間半以上の連続した睡眠が得られる。最低でも6時間。
食事	空腹感があり、自発的に自力で食事できる。体重が増加しはじめる。甘いものを好んで食べる。
排泄・清潔維持	適量の下剤で毎日排便がある。尿閉なし。洗面・入浴に介助不要。女性の場合、化粧。
行動制限	攻撃的行動なし。自傷・自殺の危険性なし。病室は開放病棟で可能。
治療同盟	進んで積極的に参加・協力する。現在受けているものが医療サービスであることをはっきり認識している。医療者を安心して信頼している。
現実との関係	外的現実との関係がおおむね維持され、目前のこと（新聞を読む、会話をするなど）に10分以上集中できる。時間・場所のオリエンテーションがほぼ正確。病棟内の医療スタッフを複数知っている。
意図と実現	身体運動は思ったとおりにほぼスムーズにでき、表情はほぼ病前に復す。ある程度長いセンテンスが話せ、会話を楽しめる。日常動作はほぼできる。退院後の生活についての計画・目論見ができる。

この事例が達成目標に達するまでの治療・ケア手順を記入してください。

＜事例 2：統合失調症急性期＞

20 歳男性。高校 3 年時、成績が思うように伸びず志望校に進学できないのではないかと悩み不眠がちになった。この頃から、知らない男女の声で「頭が悪い」などという声が聞こえるようになった。また、自分の日常生活が盗聴器・盗撮器で調べられていると確信するようになった。X 年 9 月末に耳鼻咽喉科を受診したが特に異常はなく、精神科受診をすすめられた。10 月、母親とともに精神科を受診したところ「統合失調症の疑い」と診断され抗精神病薬の投与を受けた。薬物療法が奏功して 1 ヶ月ほどで寛解状態に入り「声」もほとんど気にならなくなった。しかし、この間勉強がほとんど手につかなかったこともあり大学受験は断念し、専門学校に進学した。当初はきちんと通学していたが徐々に授業についていけなくなり、秋から登校しなくなった。その後は自室に閉じこもりがちになり、昼夜逆転した生活を送り、通院・服薬も不規則になった。X+1 年 12 月、思いつめた表情で母親に「高校時代に迷惑をかけた件で、友人に謝らなければいけない」と訴えたことがあった。また、12 月中旬からは独語や壁を叩く行為も時折みられるようになった。X+2 年 1 月のある早朝、電気がついている本人の部屋を母親が覗いたところ、黙って布団の上で正座している本人を発見した。話しかけても返事をしないため母親が本人の肩をゆすったところ、母親の手をはらいのけた。そのため、すぐに両親とともに B 病院精神科を受診し入院治療をすすめられ、即日医療保護入院となった。



達成目標

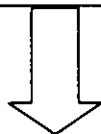
睡眠	7 時間半以上の連続した睡眠が得られる。最低でも 6 時間。
食事	空腹感があり、自発的に自力で食事できる。体重が増加しはじめる。甘いものを好んで食べる。
排泄・清潔維持	適量の下剤で毎日排便がある。尿閉なし。洗面・入浴に介助不要。女性の場合、化粧。
行動制限	攻撃的行動なし。要求がただちに満たされなくても待ってられる。自傷・自殺の危険性なし。病室は開放病棟で可能。
治療同盟	進んで積極的に参加・協力する。現在受けているものが医療サービスであることをはっきり認識している。医療者を安心して信頼している。
現実との関係	外的現実との関係がおおむね維持され、目前のこと（新聞を読む、会話をするなど）に 10 分以上集中できる。時間・場所のオリエンテーションがほぼ正確。病棟内の医療スタッフを複数知っている。
意図と実現	身体運動は思ったとおりにほぼスムーズにでき、表情はほぼ病前に復す。ある程度長いセンテンスが話せ、会話を楽しめる。日常動作はほぼできる。退院後の生活についての計画・目論見ができる。

この事例が達成目標に達するまでの治療・ケア手順を記入してください。

＜事例 3：興奮状態による隔離室使用＞

32 歳女性。31 歳時初夏、仕事のミスで上司から叱責を受けたのを機にパートの仕事をやめた。その後仕事を探したが中々見つからず、心労がたまり不眠がちになった。X 年秋、本人が母親に「外で悪口が耳に入ってくる」「自分の家にいるのに誰かに見られている」と相談したことがあった。その後「近所の人たちがテレビ局に情報を伝えて、テレビで私のことを放送している。」と興奮して訴えながら母親のところに来た。母親がそのような事実はないと告げるも、「お母さんもグルなの」と母親を攻撃した。翌日、母親と近くの精神科クリニックを受診して抗精神病薬の投与を受けたが、服薬は不規則であった。

11 月のある夜、一睡もできず、翌日朝から不穏になった。自室で興奮して大声を上げる、テレビのスイッチを押し続ける、2 階の自室から外に物を投げるなどの行為があり、母親とともにクリニックを受診した。担当医から入院治療をすすめられ、即日医療保護入院となった。一旦説得に応じて入院したものの、入院後すぐに退院すると主張し、服薬も拒否した。また、脈拍や血圧を測ろうとした看護師をふりはらい、採血・検尿などの検査も拒絶した。その後、自室のベッドで休んでいたが、布団をかぶって首に下着を巻きつけて首をしめようとしているところを発見され保護室使用開始となった。



達成目標

睡眠	量的確保。
食事	拒食なし。
排泄・清潔維持	排泄の自立。尿閉なし。
行動制限	安全がある程度確保されている。自傷他害の危険性が低下。閉鎖病棟での生活が可能。
治療同盟	拒薬なし。しぶしぶでも治療を受け入れる態度がある
現実との関係	外的現実との関係性が短時間でも維持できる。医療スタッフをスタッフとして認識できる。
意図と実現	不十分ながらも言語による医療スタッフへの表現ができる。見守りがあれば入浴や着替えの準備ができる。

この事例が達成目標に達するまでの治療・ケア手順を記入してください。

時間軸

	入院時	1週目	2週目	3週目	4週目	6週目	8週目	12週目
検査・診断	血液検査		心理検査		血液検査		血液検査	血液検査
薬物療法	初回量投与 () ()		効果を投与量あげると同時に抗うつ薬変更	不必要な薬の整理			薬物継続	薬物継続
身体療法			薬物の効きを見てm-ECT	薬物の効きを見てm-ECT		薬物の効きを見てm-ECT		
精神療法	治療計画	治療チームへの指針	家族への説明				家族への説明	
看護ケア	自殺リスク・睡眠食事を把握	不安の傾聴 自殺リスク・睡眠食事を把握	不安の傾聴 自殺リスク・睡眠食事を把握		入院に至る経緯の振り返り	外出・外泊の振り返り		退院前不安の傾聴
行動範囲・場所	病室内静養	病棟内静養	同伴外出		単独外出	外泊		退院日決定
生活療法			ラジオ体操 作業療法導入		服薬指導導入 検討		服薬自己管理開始	
その他	治療方針決定		家族面談			家族面談		家族面談
アウトカム	安全性の確保	睡眠・休息の確保 食事自立	睡眠・休息の確保 入浴自立	睡眠・休息の確保 洗濯自立	入院に至る経緯のふりかえり	病状の客観的把握 外出の安定	外泊の安定 整容(化粧など)	退院

(記入例) 大うつ病性障害
急性期入院医療パス

例のように時間単位で自由に区切るかもしくは病期・段階で区切って記入してください。

可能であれば投与する薬剤の種類なども記入してください。

精神療法とは病歴の聴取、観察、精神的な働きかけ、治療計画の作成、治療チームへの指針作成、家族への説明指導等を指します。

室内、病棟内、敷地内、外出、お茶汲み可、売店可などを記入してください。

作業療法、ラジオ体操、服薬指導などを記入してください。

ADL自立の程度を含めて、次の段階に進むための到達ラインを記入してください。

(大うつ病性障害急性期)入院医療パス
 貴院における事例の治療・ケア手順

4週目以降はご自由に区切ってご記入ください。
 4週目までの時間軸の区切りは赤で修正されても結構です。

	入院時	1週目	2週目	3週目	4週目
検査・診断					
薬物療法					
身体療法					
精神療法					
看護ケア					
行動範囲・ 場所					
生活療法					
その他					
アウトカム					

(統合失調症急性期)入院医療パス

貴院における事例の治療・ケア手順

4週目以降はご自由に区切りに区切ってご記入ください。
4週目までの時間軸の区切りは赤で修正されても結構です。

	入院時	時間軸			
		1週目	2週目	3週目	4週目
検査・診断					
薬物療法					
身体療法					
精神療法					
看護ケア					
行動範囲・場所					
生活療法					
その他					
アウトカム					